

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院消化器外科において、原発性肝癌で手術歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学外科学第2講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、通常の診療で得られる情報や検査データ等を利用して行う臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常診療で得られる情報を利用して頂く研究ですので、本研究に参加することにより対象となる患者さんに追加で検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

原発性肝癌における immunoscore の活用に関する検討

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学外科学第2講座 講師 上野昌樹

3. 研究の目的

原発性肝癌は、切除後に再発する症例も多く、まだまだ克服すべき課題が多い疾患です。周術期に化学療法などの補助療法を組み合わせることで、再発予防につながる可能性があります。補助療法は体に負担をかけるものとなるため、不必要な補助療法の施行を避けるためにも、高精度に再発を予測するツールの開発が必要となります。近年、大腸癌において腫瘍内の免疫担当細胞の分布に基づいた immunoscore が、高い予後予測精度を持つことが報告されてきており、原発性肝癌に関しても immunoscore を適応できるのかを検討します。術後再発の予後予測ツールとしての有用性が確認できれば、再発ハイリスクの患者さんに、対象を絞って、術後補助療法を組み合わせることで、その予後改善につながる可能性があります。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2010年1月から2020年12月の間に和歌山県立医科大学附属病院にて原発性肝癌に対して肝切除術を受けた患者さんのうち、「国際がんゲノムコンソーシアム研究」もしくは「肝細胞癌の浸潤関連遺伝子に着目した予後予測の確立」に参加の同意をいただいている患者さん。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、肝切除術を受けてから5年が経過するまでの病歴、採血データ、切除標本から得られる病理所見に関する情報です。

(3) 方法

当科にて原発性肝癌切除手術を受けた方の切除標本を用いて、免疫担当細胞の分布から得られる、immunoscore を計算します。Immunoscore と無再発生存率、全生存率の関連を検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。

研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学外科学第2講座 担当医師 宮本 篤

TEL : 073-441-0613 FAX : 073-446-6566

E-mail : miyamoto@wakayama-med.ac.jp